

決算常任委員会

者はどれくらいか、市民への周知はどうかとの質疑には、社会福祉法人に委託、参加者はまちまちです。出前講座などで市民に周知しているとの回答。

賛成多数で認定

■議案第71号

平成28年度湖南市訪問看護ステーション事業特別会計決算の認定について

研修会への参加を見送られた理由については、勤務状況からできなかったとの回答。

全員賛成で認定

■議案第72号

平成28年度湖南市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

企業庁は黒字と聞くと、原水料金の引き下げの交渉はしているのか、自己水の確保対策はとの質疑には、企業庁は電気料金値上げで原水料金引き上げを実

施している。今後の電気料金引き下げによる原水料金引き下げを要求している。自己水については東河原浄水場を改修する予算計上を図りたいとの回答。

全員賛成で可決及び認定

■議案第73号

平成28年度湖南市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

工業団地内の企業は下水道に接続されているのかとの質疑には、事務所関係はほぼ接続されているが、工場関係が接続されておらず、

除害施設を設けて河川に放流されている。平成23年から、下水道水洗化促進事業として企業にも声をかけているとの回答。

全員賛成で可決及び認定

予算常任委員会

■議案第61号

平成29年度湖南市一般会計補正予算(第2号)

問 前年度の繰越金の処理の仕方については、翌年度の9月議会の補正予算に計上されている。今回の処理は、今までなかった決算処理

である。繰越金の一部もしくは全部を市長の裁量権によって、予算積立するとの条例改正を受けての初めての決算の形である。平成28年度の実質収支額の約3億1千万円を平成29年度の補正予算で繰越金に充て、そのうちの2億5千万円を財政調整基金に積み立てた。一方、当初予算で5億円の財政調整基金を取り崩しているが、取り崩し取りやめの予算措置をして、予算規模を縮小するのが原則ではないか。

答 これまで剰余金処分を決算の中でしてい

たが、予算のほうで見ることになったので、

実務上検討し、透明性を確保するため、繰越金に充てた後、積立として計上しました。まずは、繰り入れから調整すべきとの指摘を受け、今後の処理の仕方について調査し、適正な処理の仕方を検討していきます。

問 木質バイオマス再生可能エネルギー事業について、今回の補正予算に上がる理由と、市内業者の活用や、今後の具体的取り組みについては。

答 6月に公益財団法人イオン環境財団からの交付決定を受けたため、今回の補正追加提案となった事業です。地域経済の活性化や市内業者育成の観点から、仮に市外業者との契約になっても、地域の情報に精通した市内業者などが協力しての参加

連携を考えています。さらに、地域主体の持続的な森林経営に向けた伐採、利用計画の策定が重要であり、中長期的な伐採計画を策定し、適正な管理により、生物の多様性、防災の観点から機能が発揮されるようにと考えます。また、木質バイオマス設備の導入については、まき、チップ、ペレットを活用し、市内のエネルギー需要施設へのボイラー導入を検討しています。

問 三雲駅周辺整備事業の北口駅前広場・駐輪場用地購入費の減額理由については。

答 用地買収へ充てる見込みであった交付金が少なく内示されたため、今年度にJ・Rと覚書を結んで、来年度、優先的に用地購入していきます。これによる石部駅周辺整備事業への影響はあり

ません。

問 生活困窮者自立支援事業の、子どもの貧困実態調査委託の詳細は。

答 2つの調査を検討しています。1点目は、子どもの家庭の実態調査で、他市との比較ができるように、小学5年生と中学2年生を対象として、1学年500世帯として1000世帯へのアンケート調査です。2点目は、支援を行なうための資源量の把握です。子ども園や保育園、児童保育所などの41施設や、各種団体、ボランティアサークルも含めた把握を考えています。

全員賛成で可決

